

事業所自己評価シート

職員による自己評価

A環境面・体制整備

利用定員と活動室のスペースは車椅子の置き場を考えれば広くスペースが確保される。

職員配置はさらに支援職員が1名欲しいとの意見もあった。バリアフリー化に関しては入口が狭いという意見もあった。

B業務改善

朝・昼・帰りと3回ミーティングを行っている。また月1の職員ミーティングで細かく話し合っている。

C児童への支援内容

計画書に関しては作成後にケア会議を行い全職員が目を通している。活動に関しても週1回活動MTで活動の話し合いを行っている。また毎日活動内容や担当割り振りについても話し合いをすることが出来ている。しかし支援の振り返りを行う時間を取れていないという意見もあった。

D関係機関や保護者との連携

学校内併設の為学校との情報共有は密に出来ている。指示書に搬送基準を書いてもらったり出来ている。相談員がいる児童に関しては必要な際は連絡をし情報共有をしている。

E保護者への説明責任等

面談時に保護者の話を聞いたり行えている。また送迎時に保護者とのコミュニケーションも大事にしている。月間予定表やブログでの発信を行えている。

F非常時等の対応

緊急時の対応は職員で周知出来ていて定期的なマニュアルの見直しを行えているが保護者に周知されていないという意見もある。

保護者による評価

A環境・体制整備

活動スペースの十分な確保や設備のバリアフリー化、また職員の配置や専門性については満足されている。

B適切な支援の提供

活動プログラムが行われ固定化しないように工夫されておりほとんどの方が満足されていた。障害のない児童との関りに関しては評価は低くどちらでもない、いいえが多かった。

C保護者への説明

支援の内容などの説明は送迎時の申し送りや連絡帳でのやり取りや場合によっては電話でのやり取りを行っている為満足されている。保護者会はコロナの影響もあり開催できていないことから評価は低かった。

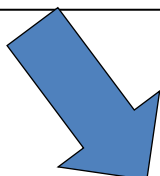
D非常時の対応

非常事態の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているかについての満足度は今年も低かった。

E満足度

通所を楽しみにしているかについては評価は高かった。帰ってくると表情良い、毎回楽しそうに帰ってくる、話をしてくれるという意見が多かった。

事業所の支援に満足しているかについても評価は高かった。親切丁寧に対応してくれて感謝する、全体的に丁寧さを感じている、いつも楽しい企画の活動をしてくれて嬉しい、活動を見たいなどの意見が上がっていた。



事業所内での分析

【共通点】

活動に関して固定化しないような活動の工夫をしている。日々職員で話し合いを重ね活動を行っていてブログや月間予定表で伝えていることで保護者からの評価も高かった。

【相違点】

事業所は緊急時の対応に関してはシミュレーションを行いながら日々行っているが保護者から評価は低かった。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

一人一人の障害特性を職員が理解し、活動でのアプローチも考えながら行っている。
面談時に看護師も面談に同席することで医ケアの不安や希望などを話すことが出来ている。また学校併設の環境の為教員とも情報共有を行い対応出来ている。

事業所の改善点

非常時の対応にマニュアルの見直し、防犯マニュアルの作成、職員の避難訓練や児童を含む避難訓練を行う。学校とも連携を取り合同の避難訓練を10月までに検討していく。
避難訓練などの様子もブログやお便りで情報発信を行っていく。

事業所の改善への取り組み

非常時の対応についてはマニュアルの確認を行い、保護者にも面談時や保護者会などで伝えていく。学校の防災担当教員ともマニュアルの見直しを行ったり、合同訓練ができるかを確認して行く。職員もマニュアルの周知を行い全職員で避難訓練を実施していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

職員の入れ替わりもあったが、それぞれの専門性を活かしながら活動を提供している。子供たちを1番に考えながらその日の様子で活動へのアプローチ方法を変えて行っている。季節を感じてもらいたいという思いから季節に沿った活動や、定期的なイベントを開催し日頃体験できないことをたんぼぼで体験出来ればと言う思いで活動を提供を行っている。連絡帳でも様子を伝えることで保護者からも活動の様子が伝わりいい評価がもらえている。

今後もブログや連絡帳で活動の様子を継続して伝えていきたいと思った。